

# 平成26年度当初予算(案)に対する パブリックコメントの結果と市の考え方について

平成26年2月

江別市総務部財務室財政課

- 募集結果 -

【参考】意見の反映状況

意見提出者	2名
対象事業数	8事業
意見数	10件

A	7	新たに取り組むもの、 または既に取り組んでいるもの
B	2	一部について、新たに取り組むもの、 または既に取り組んでいるもの
C	1	今後の検討課題とするもの
D	-	実現が難しいもの等

このほか、予算編成手法等に対しても意見がありましたので、参考とさせていただきます。

平成26年度予算(案)パブリックコメント募集事業予算一覧表

(単位:万円)

政策	取組の基本方針	事業名	所管課	意見数	H25予算	H26要求	H26査定(案)	左の財源			
								国・道	市債	その他	一般財源
1 自然・環境	2 循環型社会の形成	分別・資源化等啓発事業	減量推進課	2	378.3	339.1	311.1			47.6	263.5
2 産業	1 都市型農業の推進	「食」と「農」の豊かさ発見実践事業	農業振興課	2	176.4	179.2	151.5			20.4	131.1
	3 観光による産業の振興	地域発見魅力発信事業	商工労働課	1	174.1	434.1	288.1				288.1
3 福祉・保健・医療	2 健康づくりの推進と地域医療の安定	成人検診推進事業(健康診査経費)	保健センター		227.7	529.7	228.5	190.4			38.1
4 安全・安心	1 安全な暮らしの確保	やすらぎ苑整備事業	市民生活課		450.0	3,370.4	3,004.0			2,800.0	204.0
	2 地域防災力の向上	地域防災力向上支援事業	参事(危機対策・防災担当)		298.7	826.0	746.2			25.9	720.3
5 都市基盤	1 市街地整備の推進	大麻地区住環境活性化事業	企画課	1	343.1	447.7	433.4	189.7			243.7
	2 交通環境の充実	公共交通利用促進対策事業	企画課	1	265.3	440.5	328.7				328.7
6 子育て・教育	1 子育て環境の充実	あそびのひろば事業	保育課	1	259.4	290.9	288.5				288.5
	2 子ども教育の充実	小中学校学習サポート事業	学校教育課		819.7	931.7	931.7	117.0			814.7
7 生涯学習・文化	1 生涯学習の充実	えべつ市民カレッジ(四大学連携生涯学習講座)事業 (「(仮称)えべつ市民カレッジ(四大学連携生涯学習講座)事業」から改称)	生涯学習課		21.4	23.2	21.6				21.6
8 協働	1 協働のまちづくりの推進	大学版出前講座支援事業 (「大学版「人材バンク」事業」から改称)	企画課	1		10.8	10.8				10.8
9 計画推進	2 透明性と情報発信力の高い市政の推進	ウェルカム江別事業	広報広聴課	1	121.5	356.9	288.1				288.1
	3 男女共同参画による市政運営の推進	働きたい女性のための就職支援事業(機会提供) (「働きたい女性のための就職支援事業」から改称)	政策調整課			95.0	89.2			35.0	54.2

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント意見一覧表

(結果欄：A=新たに取り組む、または既に取り組んでいるもの、B=一部について新たに取り組む、または既に取り組んでいるもの、C=今後の検討課題とするもの、D=実現が難しいもの等)

番号	政策 施策	事業名	所管課	ご意見	要求額	査定(案)	市の考え方	結果
1	1-2	分別・資源化等啓 発事業	減量推進課	古布、衣類、使用済小型家電の公共施設での拠点回収の新規実施と回収拠点の拡大は市民が取り組むゴミの減量と資源リサイクルに効果が期待できる。なお、車がなくとも歩いて持ち込めるよう、管理人のいる地区センター、自治会館などへの拠点の拡大が望ましい。身近に弱者に配慮した拠点ができることで参加する市民の底辺が広がるので拡大を検討してほしい。	339.1万円	311.1万円	<p>当市では、ごみの発生抑制、再利用及び再生利用の促進によるごみの減量化に向けた具体的な取り組みの一つとして、平成26年度より公共施設での古布・衣類及び使用済小型家電の拠点回収を実施します。</p> <p>特に、古布・衣類の拠点回収については、当市で初めての試みであり、当初は地区ごとに設定した拠点で回収を実施しますが、今後については事業開始後の回収量を見極めつつ、拠点の拡大を検討していきます。</p> <p>また、リフューズ、リデュース、リユースの市民意識の高揚に向けた取り組みについては、ごみの減量化や循環型社会の実現に向けて極めて重要と考えていますので、市の清掃部門広報誌「ごみコミえべつ」を通して啓発に努めていきます。</p>	A
2				<p>・回収する拠点が拡充されることは、さらなる総ごみ量の減量や資源化、燃やすごみ量減につながり、大変良いことと思います。適正な資源化を徹底していくためには、市民にとって出しやすい環境を整備していくことが重要と考えますので、更なる拠点増をめざし、取り組んでいかれることを期待します。</p> <p>・資源化を推進していく一方で、容器包装(ペット、缶、ビン、発泡スチロールなど)について、分別・回収の仕組みに私たちの多額の税金が投入されていることは、意外に知られていないと感じています。リデュース、リフューズ、リユースの意識が高まること、ごみ減量にもつながることから、このような企画・機会を市民に向けて積極的に取り組んでください。</p>				A
3	2-1	「食」と「農」の 豊かさ発見実践事 業	農業振興課	<p>1. 中学生、高齢者向けへの体験拡大は是非実施すべきです。高齢者の参加は多いと考えられることから予算はもっと増やした方がよい。また、他の高齢者支援施策との連携により効果的な展開が可能になるのでは。</p> <p>2. 江別市民だけが対象になっているが、札幌や道外の都市住民を江別に誘引する手段として、「地域魅力発見事業」やグリーンツーリズムと連携した外的発展を指向すべきである。</p>	179.2万円	151.5万円	<p>中学生、高齢者向け事業は、平成25年度に策定した第2次江別市食育推進計画に基づき、各世代に応じた食育事業の充実を図ることを目的に、平成26年度から新たに実施する予定としています。</p> <p>中学生向け事業では、専門の講師や生産者による講義を行い、参加した中学生が地場産食材を中心としたメニューを考案し、食材の購入から調理までを一貫して行います。また、より実践的な活動とするため、家庭でも再現しやすいメニューを題材にするなど、より身近に食の大切さを感じてもらえるように事業内容を検討します。</p> <p>高齢者向け事業は、ご意見にあるとおり、他の高齢者支援施策との連携による相乗効果なども期待できることから、教育委員会が所管する蒼樹大学、聚楽学園との連携事業として、その受講者数を見込み予算計上したところです。今後も他事業との連携について検討していきます。</p> <p>なお、札幌や道外都市の住民に対する取り組みとしては、「地域魅力発見事業」や、グリーンツーリズムの推進等を目的とした「都市と農村交流事業」、さらには地場産農畜産物のPR等を目的とした「江別産農畜産物ブランディング事業」などの事業を展開する予定ですので、これらの事業と連携を図りながら、事業効果を高めていきたいと考えています。</p>	A
4				<p>・地元における旬の食材を旬の時期に食べることは、大変重要です。近年、「旬産旬消」と呼ばれ、ハウス栽培におけるエネルギー消費を抑制できるので環境保護に寄与するほか、食文化に季節感を取り戻すこともできるといわれています。食育推進計画における中学生への食の実践に向けては、地産地消から、日本型食生活の大切さや限りある産物を楽しく大切にいただくことなど、より一歩踏み込めるような取り組みを要望します。</p>				A

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント意見一覧表

(結果欄：A=新たに取り組む、または既に取り組んでいるもの、B=一部について新たに取り組む、または既に取り組んでいるもの、C=今後の検討課題とするもの、D=実現が難しいもの等)

番号	政策 施策	事業名	所管課	ご意見	要求額	査定(案)	市の考え方	結果
5	2-3	地域発見魅力発信 事業	商工労働課	予算を2.6倍にするほどの効果が期待できるか非常に疑問である。これまでの施策の評価を行い、効果を検証した上で新たな取り組みを展開すべきである。特にルートマップの作成、えべつプロモーション広告掲載拡大は、関連企業等への利益供与になるだけでないか。企業等への丸投げでなく市民との協働で新しい誘客方策を考える必要がある。	434.1万円	288.1万円	これまで主に札幌圏の親子を対象としてルートマップの作成・配布を行っていますが、市内の主要観光施設や店舗等において、ルートマップの持参者や付属のクーポンが利用されているなど、市外から当市を訪れる方が徐々に増えております。江別を訪れたことがない札幌市民や札幌に滞在する観光客等に対して、江別の景勝地や歴史環境に、「食と健康」をキーワードにした魅力的な観光施設等を融合させて情報発信することは、江別市への来訪機会を増やす有効なPR戦略と考えますので、引き続き取り組んでいきます。 また、市民との協働による誘客方策の検討については、これまで市民参加によるワークショップ等により地域資源の掘り起こしを行っており、今後も市民の意見を参考にして取り組んでいきます。 なお、事業内容と経費については精査し、江別プロモーション広告の拡大について見送りとしていますが、今後も効果的な事業展開に努めていきます。	A
6	5-1	大麻地区住環境活 性化事業	企画課	委託事業の内容が住民に周知されていない。特に江別市安心生活まちづくり推進事業運営協議会は住民に知られていないし、機能していると考えられない。関心を持ち、情報と意見、提案を有する住民主体の協議会に再編すべきである。ワークショップや講演会で住民意向を代替できないし、効果も期待できない。なお、協議会会員には、費用弁償や報酬が公費から支払われていると受止めている住民が多いことも承知すべきである。	447.7万円	433.4万円	江別市安心生活まちづくり推進事業運営協議会や、その活動内容については、ニュースレターを発行し、大麻・文京台地区の住民に全戸配付したところであり、今後も、このような周知活動を継続するとともに、ホームページ等の活用を含めて、さらに周知を図っていきたく考えています。 今年度実施した住民参加によるワークショップや意見交換会は、住民主体のまちづくりを進めるうえで有効な手段と認識しており、来年度においても引き続き実施するとともに、協議会とも連携しながら実現に向けた検討を進めていきたく考えています。 なお、協議会会員には費用弁償及び報酬は支給していませんので、ご意見をふまえてニュースレター等による周知を検討していきます。	C
7	5-2	公共交通利用促進 対策事業	企画課	1. 交通体系見直しに係る交通調査委託料の全額一般財源負担は適切でない。調査を経営に反映できる可能性がある事業者にも負担させるべきである。そのことが、事業者の当事者意識を高めることにつながる。 2. 論点の専門家会議と積算内訳の事業推進会議とは同じものか。2つの会議をつくる必要があるのか。 3. 実証運行の検討には専門家、事業者だけでなく、関心と問題意識を持つ市民が参加すべきである。これまでの検討会議とは別の新たな市民提案の可能性が大きい。	440.5万円	328.7万円	交通調査は、当市のまちづくりの観点から駅を中心とした最適な交通体系を検討するための調査であることから、市の負担により実施する予定としています。 論点に記載した「専門家会議」と、積算内訳に記載した「事業推進会議」は同じものであり、実証運行に向けて実務面や専門的な見地から検討を行うための会議です。 実証運行にあたっては、専門的、技術的な見地から検討が必要と考えていますが、ご意見にあるとおり、住民の意向も重要なポイントですので、関係住民との意見交換の機会を設けたいと考えています。	B

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント意見一覧表

(結果欄：A=新たに取り組み、または既に取り組んでいるもの、B=一部について新たに取り組み、または既に取り組んでいるもの、C=今後の検討課題とするもの、D=実現が難しいもの等)

番号	政策 施策	事業名	所管課	ご意見	要求額	査定(案)	市の考え方	結果
8	6-1	あそびのひろば事業	保育課	<p>・文京台地区へひろばの拡充については、大変意義のあることであり、地域からもその必要性が求められていたと推測します。</p> <p>・見直すかとされている「子育てサロン」「地域子育てひろば事業(にこにこひろば)」の統合については、これまでの事業展開の検証結果(利用者の意見や要望等)を受け、さらに現状以上にどのような効果をめざし、統合していくかがよくわかりません。市内12か所の拠点が減少することを意味しているように読み取れますが、もし開設場所が統合され、現行より減となるのであれば、具体的に相互連携のあり方や支援強化の具体的な内容についても示すべきです。</p>	290.9万円	288.5万円	<p>この事業は、出張ひろば型の地域子育て拠点の包括的な事業として、現状は別々に実施している「子育てサロン事業」、「親子にこにこひろば」、「親子安心育成支援事業(地域ひろば事業)」を統合し、既存の実施箇所に加え、未実施地区であった文京台地区にも開設するものです。</p> <p>また、統合に当たって、各事業の良い点を生かしながら包括的に展開するため、既存のひろば型事業について、それぞれ次のとおり取り組み内容を拡充することを予定しています。</p> <p>「子育てサロン」 現在、対象は0歳～幼稚園就園前の児童とその親ですが、「地域子育てひろば事業(にこにこひろば)」にあわせ、0歳～就学前の児童とその親に拡大します。</p> <p>「地域子育てひろば事業(にこにこひろば)」 現在、一部の実施箇所では10:00～11:30となっている開設時間について、子育てサロンと同様に10:00～12:00までに延長します。</p>	A
9	8-1	大学版出前講座支援事業 (『大学版「人材バンク」事業』から改称)	企画課	<p>・4大学の特色を生かした大学版出前講座は、市民にとっても楽しみなところですが、高齢化がますます進行していく中、社会教育という視点からもこのような取り組みは大変重要です。子どもから大人まで活用できる内容等にも配慮してください。開催場所は、各大学と思われませんが、会場へのアクセスや教室へのわかりやすい情報提供を各大学へ要望してください。</p>	10.8万円	10.8万円	<p>出前講座の内容については、各大学と協議しながら、市民が関心を持ち、また活用しやすいメニューにしたいと考えています。</p> <p>なお開催場所は、市民が参加しやすい地域の自治会館や住区会館などを予定しています。</p>	A
10	9-2	ウェルカム江別事業	広報広聴課	<p>・取り組み内容の見直しについて記載されていますが、23年度からのパンフレットやHP、タウンマップによる取り組みの効果について検証することにより(具体的な数字など)、それらを踏まえ何を改善し、さらに積極的に取り組んでいくのが示されることが望ましいのではないのでしょうか。</p> <p>予算(案)では、パンフレット作成・配架委託料が前年比の約3倍となっていますが、従来のパンフレットを活用していくのか、リニューアルするのか、配布する設置場所など具体的に示してください。</p> <p>・口コミによる移住も大切です。近年、実際に転入された子育て・若い世代の方々により魅力を発信してもらえようようなアピールは、説得力があり楽しいと思えますので様々な角度から江別の快適さ、優位性を展開してください。</p>	356.9万円	288.1万円	<p>平成23年度から25年度までの3年間の取り組みでは、まず江別市の認知度向上を目的に、市外向けパンフレット「えべつのかん」を3年間で16,000部、市内向けのパンフレット「えべつタウンマップ」を15,000部作成して配布しています。また、「えべつのかん」のウェブサイトを作成し、幅広い情報発信を行ってきました。</p> <p>市外向けパンフレットについては、初年度は主に札幌市内の幼稚園・保育園に配布し、以降、札幌市の住宅展示場や札幌駅・地下鉄大通駅に配架しましたが、JR駅では早々に追加申込が来るなど需要が高く、訪問者の増加が見込まれるところです。このため、JR駅に引き続き重点的に配架するとともに、札幌市内の幼稚園・保育園への再配布や、ファミリー層が多く集まる札幌市のイベントなどでの配布を行えるよう部数を増やす予定です。</p> <p>また、ウェブサイトについては、子育て世代の閲覧数の多いWebサイトにバナー広告を掲出した結果、アクセス件数が開設1年目の15,959件から2年目には21,825件へと増加したことから、今後も継続していきます。一方、新規取り組みとして予定した検索サイトへの広告掲出については、費用対効果を勘案して見送りとし、今後も子育て世代をターゲットとしてアクセス数の増加を図っていきたいと考えています。</p> <p>パンフレットおよびウェブサイトの内容については、事業開始4年目を迎えることから、江別の優位性をより鮮明にした内容にリニューアルするとともに、次年度以降の参考とするため、これまでのホームページでのアンケートのほか、パンフレットにも読者からの感想・意見等をもらえるような仕組みを作っていきたいと考えています。</p> <p>なお、口コミによる魅力発信については、SNSなどの活用も視野に入れて効果的な手法を検討していきます。</p>	B